

10月20日65期生の戴帽式が挙行されました！

戴帽式とは、ヨーロッパにおいて修道女がいばらの冠をかぶり、誓いをたてたことに由来すると言われており、ナースキャップは看護師のシンボル、キャンドルの灯はクリミア戦争での病院のランプを意味し、ナイチンゲールの献身的な看護の精神を表すと言われています。（諸説あります）

現在では、衛生面等の理由でナースキャップは廃止されていますが、現在も多くの学校で看護師を目指すものとしての職業に対する意識を高め、またその責任の重さを自覚する節目として行われています。

当日の様子をぜひ、ご覧ください。



全員がナースキャップを戴き、
キャンドルサービスを行います。





キャンドルに光を灯して、全員の声も心も合わせて、誓いのことばを述べました。



『誓いの言葉』

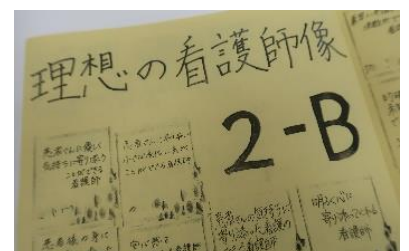
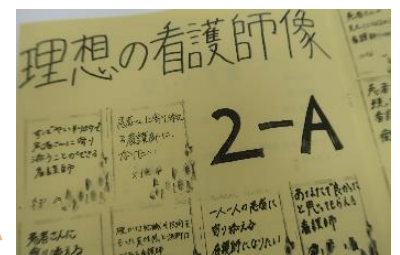
私たち 65 期生は人々の命に携わる者としての責任と思いやりの気持ちを持ち、患者様に寄り添います。そして、仲間と支え合い、知識と技術の習得に向け努力することを誓います。

厳かな雰囲気でもナースキャップをいただき、理想の看護師に向かって進みます。

戴帽式のしおりに書かれた理想の看護師をご紹介します。

- 「患者様と一緒に歩む看護師になりたい」
- 「わずかな変化に気づき、臨機応変に対応できる看護師になりたい」
- 「患者様とご家族に寄り添える看護師になりたい」
- 「温かな心を持って患者様やご家族と接し、安心感を与えられる存在になりたい」
- 「丁寧に仕事を行うことができる看護師になりたい」 など

たくさんの 65 期生の思いが詰まっています。



戴帽式 式場での裏側

<練習の合間にハイチーズ>



<入場中の様子>



いってきまーす!

先生こんなところでも撮ってる〜笑



頑張ってきてね〜



戴帽式の裏側 ~戴帽式を迎えるまで~ 10月12日に学校の体育館で練習をしました。



髪の毛をまとめる位置も
確認していましたよ!



ナースキャップの戴き方、立ち上がるタイミングや
一緒に歩く人とのタイミングを確認しながら練習していました。

今回は式典の裏側も含めて、お知らせしました!
次回のNEWS!もお楽しみに〜

